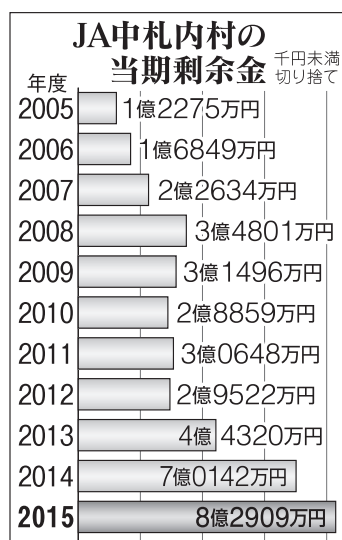




【中札内】JA中札内村（山本勝博組合長、正組合員209人）の2015年度決算の当期剰余金が8億2909万2000円となり、前年度に続き単一JAの道内過去最高額を更新した。10日に村内で開かれた通常総会で報告された。

昨年、札幌商工会議所認定の「北のブランド2016」で金賞を受賞した「そのままだ

豆」などの枝豆加工品の販売額が、過去最高の23億円（前年度比9.1%増）を達成。ビートの収量は10アール当たり7.28トンで5年連続の7トン超えとなった。小麦の収量も平年を大きく上回り、同12.61俵（同37%増・1俵＝60キロ）と過去最高を記録。酪農は5年連続のプール乳価値上げと規模拡大などで、生乳生産量は4万1615トン（同3.4%増）となった。

事業分量配当金も過去最高の2億262万3330円の支払いを決めた。総会で山本組合長は「これから3～5年の取り組みが農協の将来にとって決定的な試練になると考えている。組合員の所得向上に加え、農村地域の活性化による持続可能な北海道農業と、豊かな地域社会の実現を目指して、積極的に事業を展開していきたい」とあいさつした。



今年度建て替えられるAコープアスポ士幌店

【士幌】JA士幌町（高橋正道組合長）は今年度、Aコープ士幌アスポ店（士幌西2線161）を建て替える。DCMホームマックの子会社・ホームマックニコット（札幌）がアスポの西側にホームセンター「ニコット」を出店する計画もあり、周辺一帯を新たな商業ゾーンとして構築することで、さらなるにぎわいが期待できる。7月に着工し、来年2月のオープンを予定。総事業費は約9億円を見込んでいる。

同店は1997年にオープン。食堂やクリーニング店など

テナント5店が入り店舗面積は3064平方メートル。新店舗は現店舗の東側に建つ予定で、面積は3834平方メートルに広がる。建て替えに合わせ、テナントの一部入れ替えも検討している。

店内にはコミュニティーバスの待合スペースを新たに設けて、コミバスの利用者を店内に呼び込む。先進技術を利用した省エネ型の冷蔵・冷凍設備機器の導入も計画。駐車場は、現在の120台から280台と大幅に拡大し、利便性を高める。

ニコットは道内に58店舗、十勝では8店舗を構え、東北でも展開。ホームマックニコットは士幌について「出店する方向で検討している」とするが、出店時期などは明らかにしていない。ただ、アスポの建て替えに伴い新たな商業空間をつくることについては「アスポは集客力のある店舗。士幌町外からの誘客も期待できる」（総務部）としている。

アスポを運営する同JAの関連会社エーコープサービスの七條光寛社長は「ニコットが出店すれば町内で買い物完結でき、町外に流れていた購買力を取り込める。お互いの強みを生かして、さらなる誘客と地域の活性化につながれば」と話している。